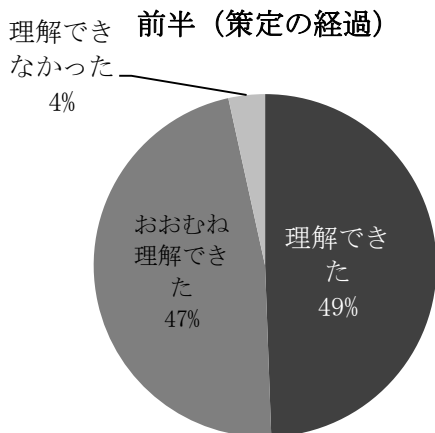


# 平成 27 年度ガイドライン研修会アンケート結果（概要）

- ◆ 開催日 平成 27 年 11 月 20 日（金）
- ◆ 場 所 武蔵野公会堂
- ◆ 対 象 市内保育施設に勤務している職員  
平成 28 年度 4 月、開設予定の保育施設の職員
- ◆ 参加人数 236 名 アンケート回収数：176 件（約 75 %）

## 1. ガイドラインの前半（策定の経過）について

前半（策定の経過）

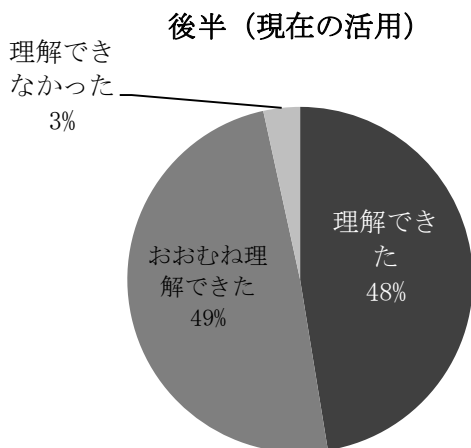


### 《主な意見》

- ・ 策定に関わった方の熱い思いが分かった。
- ・ 非常に多くの時間をかけて議論が行われ、内容をまとめるのに苦労されたことがよくわかった。
- ・ 保護者委員を入れたことが特徴とのことだが、保護者と保育士とが話し合いの時間をたくさん持てたのはとてもよいことだと思った。
- ・ 父母・大学の先生も加わり、官・民・学がそれぞれの立場と持てる力を結集して作ったところが武蔵野市独自のものだとわかりました。
- ・ 「保育の維持、向上」を公立保育園でのものから民間保育園他全保育施設にまで広げて行く姿勢を示されたのはすばらしいと思いました。

## ガイドラインの後半（現在の活用）について

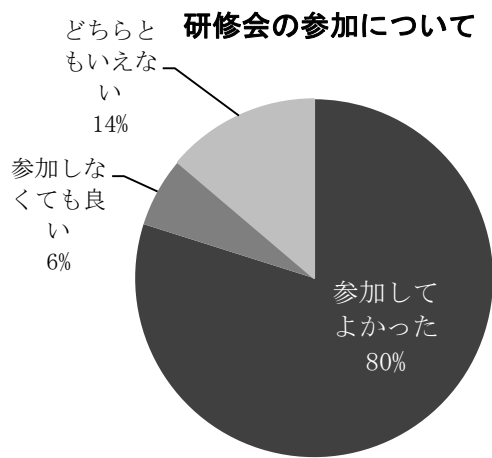
後半（現在の活用）



### 《主な意見》

- ・ 精華第二保育園の実践の話は学ぶ点がありました。今後も更に活かしていきたい。
- ・ ガイドラインが実際に活かされ、活用されている具体的な話を聞くことができ、ガイドラインの存在が机上ではなく実際に保育の中に生きていることや絶えず進化していることが実感することができた。
- ・ 読むと当たり前だと思うことばかりなのですが、実施するとなると本当にできているのかなと確認し直さなくてはいけない大事なことだと思った。
- ・ 待機児童問題を解消するにあたり、新規保育施設が増えていくと見込まれる中、より強く活用される方向に持っていきべきと考える。

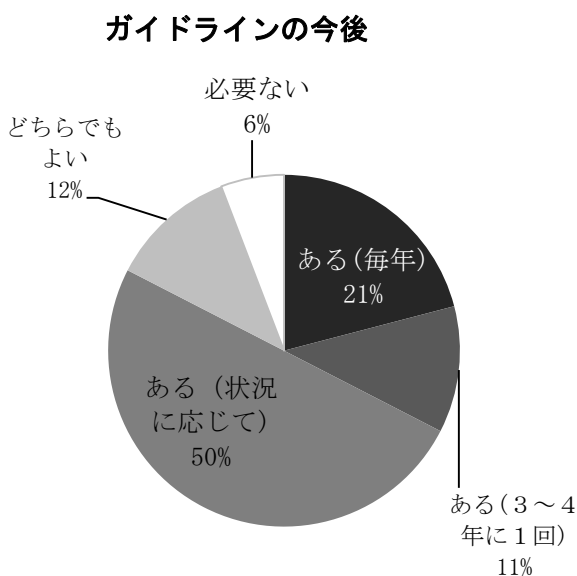
## 2. 全体を通して、研修会の参加について



### 《主な意見》

- ・ガイドライン策定の経過や思い、目的が分かったので良かったと思う。
- ・ガイドラインの存在は知っていたが、こういった経過でどのような方がつくられたのか知らず、生の声で知ることができて良かった。
- ・パワーポイントを見て、どのように現場で活かされているのかがよくわかった。これからもそうした場があると良い。
- ・策定にあたり大事にしている部分を聞いて、より明確にガイドラインをとらえられ良かった。
- ・研修の内容だけでなく、市職員、各保育施設の職員が集まって話を共有できたということはとても良かったのではないかとと思う。
- ・策定の経過や活用についての部分がメインだったが、ガイドラインの内容（中身）について、解説してもらおうと良いと思う。
- ・ガイドラインの具体的な内容等の説明があれば良かった。

## 3. ガイドライン研修会の今後



### 《主な意見》

- ・保育の質の維持・向上のためには続けて行い、研修に参加していない職員が順にみんな参加できると良いと思う。
- ・毎年、新人職員が入るので、本日の内容、市として取り組んでいることを知ることは大事。保護者についても同様に思う。
- ・ガイドラインの見直しや保育部会のまとめなど、実践していることを知ってもらうためにも、このような会は必要だと感じる。
- ・新規施設が今後できるのであれば必要。今回のような形でなくてもよいと思う。
- ・ガイドラインはこれからの実践を通して見直し、内容の変更がある時は皆で学ぶ機会が必要。
- ・保育者向け、保護者向けの両方があると良いと思う。

#### 4. 今後の貴施設のガイドラインの活用やガイドラインについて（自由記載）

- ・職員と読み合わせをしたり園内研修の資料に活用できればよいと思う。
- ・ガイドラインは活用しなければ意味がないという言葉が印象的。園でもここはどうか、できているかを話しをしながら保育に活かしていきたい。
- ・武蔵野市の保育の元となるガイドラインがあることは大切だと思う。基本があることで大きくずれていけないし、この部分が大切ということが一致できるのではないかと思う。それには実践交流は欠かせないと思う。保育部会の実践交流を通して、それぞれの園の保育が見える。
- ・保護者にも読みやすい（読んでもらいたいと思う）ガイドラインなのかという部分では不安。今後どのように保護者にも広げていくかが大事であり課題。
- ・ガイドライン保育部会のメンバーです。部会で話されたことを園におろしていく役割を担うことが大事だと感じました。実践を積み重ねることが武蔵野市の保育の質の向上になると思います。
- ・もっと中身についての説明をほしかったです。それと今後の利用の仕方についての説明がほしかったです。活用について、他園の実践をもっと知っていくことが大事。
- ・新規施設ですので新しく採用する施設長・保育士と読み合わせするなど、ガイドラインの中身を共有しながら、それぞれの考え方を運営に生かしていきたいと思う。
- ・振り返りの場面、何かを判断にする時に、ガイドラインを基準に考えるようにしていきたいと思う。
- ・武蔵野市のガイドラインをもとに、地域子育て支援に力を入れていけるようにしたい。
- ・他園の状況を知りたいので、もっと回数があると参加しやすい。
- ・保護者との共有=武蔵野市の保育、自園の保育を伝えられるように、今回の実践報告会のパワーポイント（映像）などが全施設の保護者会等で、見られたらよいのではないかと。

#### 5. その他、ご感想、自由記載

- ・今回参加して、策定の経過や思いを感じることができたし、保育を見直せた。今後活用できる部分は活用したいので、今回のような場は続けてほしい。
- ・ガイドラインを守り検証していくことが公立の役目だと思った。
- ・前もって参加者にはガイドラインを熟読しておいてもらい、各項目に対しての質疑応答で理解をより深めるなどの研修があるとよいと思った。
- ・今回は内容も充実しており、非常に有意義でした。一方で、研修会というタイトルであるため、内容の説明「この項目はこういう意図でこのように表現した。」など具体的なことを聞けると考えてしまっていた。
- ・民間園や小規模、新規開設の保育施設がガイドラインをどう受け止めたか、アンケートのまとめを教えてください。

## ガイドライン研修会アンケート集計結果

### 1-①. ガイドラインの前半（策定の経過）

施設区分	理解できた	おおむね理解できた	理解できなかった	意見・感想
認可保育所	52	51	4	<p>《理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者委員を入れたことが特徴のことだが、保護者と保育士が話し合いの時間をたくさん持てたのはとてもよいことだと思った。</li> <li>・策定の経緯等を知ることができて良かった。</li> <li>・保護者の意見が取り入れられ策定されたのは良いと思った。</li> <li>・保護者が策定に参加しているの、このガイドラインにそってどのようなことが行われているのか、引き続き保護者に知らせていく必要がある。</li> <li>・公立保育園が武蔵野市の保育を牽引しガイドラインを作ってきたことや、今後も公立保育園が必要であると民間の方から聞けて、様々な保育施策に対応していくために公立は必要と感じた。</li> </ul> <p>《おおむね理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方の入り、保育園職員、行政職員、それぞれの思いや立場でつくられたものだとよくわかった。</li> </ul> <p>《理解できなかった》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どういった経緯でつくられたか理解できたが、自分の勉強不足もありピンとこない部分もあった。</li> </ul>
小規模	12	16	0	<p>《理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定に関わった方の熱い思いが分かった。（でも、客席との温度差を感じた）</li> </ul> <p>《おおむね理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン取り組みの方々の思いは良く伝わった。</li> </ul>
家庭的	6	7	0	
グループ	3	0	0	<p>《理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このガイドラインを作るためにたくさんの方がかわり、色々な意見を出し合って作り上げた経過がわかり、苦勞したんだと思った。</li> <li>・父母・大学の先生も加わり、官・民・学がそれぞれの立場と持てる力を結集して作ったところが武蔵野市独自のものだとわかりました。</li> <li>・「保育の維持、向上」を公立保育園でのものから民間保育園他全保育施設にまで広げて行く姿勢を示されたのはすばらしいと思いました。</li> </ul>
新規施設	4	4	1	<p>《理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に多くの時間をかけて議論が行われ、内容をまとめるのに苦勞されたことがよくわかった。</li> <li>・皆さんの伝えたい思いがたくさんあるのだと思った。</li> </ul> <p>《おおむね理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン策定時の議事録を見たい。</li> <li>・小規模保育施設の必要性、3歳児からの受け入れの重要性が理解できた。</li> <li>・保育所保育指針の養護・教育の必要性について説明が希薄だった。</li> </ul> <p>《理解できなかった》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅番勤務のため、後半 20 分程度の参加しかできなかったの…</li> </ul>
その他	9	4	1	<p>《理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・行政・現場の 3 方向からの意見をまとめあげるとは相当な困難だったと思った。</li> <li>・とても貴重な話を聞くことができて良かった。</li> <li>・策定に携わっていない者として生の声を聞き熱い思いや苦勞談など伺うことができてとてもよかった。</li> <li>・ガイドラインの策定の背景を知ることができたことから、ガイドラインの位置づけや意図しているところがどういふものを理解することができた。</li> </ul> <p>《おおむね理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定に関わった方々がどんな思いでいたのかを聞くことができ、貴重な機会でした。</li> </ul>
合計	86	82	6	

1-②. ガイドラインの後半（策定の経過）

施設区分	理解できた	おおむね理解できた	理解できなかった	意見・感想
認可保育所	52	53	3	<p>《理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>皆さんの熱意が伝わってきて、再度じっくり読みたいと思った。又今後も見直しをし、皆の意見を反映させ、よりよいガイドラインを作っていけると良いと思う。</li> <li>今後の市の保育の展望等を知ることができ良かった。</li> <li>精華第二保育園の実践の話は学ぶ点がありました。今後も更に活かしていきたい。</li> <li>現在の活用と今後に向けては、レジメもあると更に分かりやすかった。</li> </ul> <p>《おおむね理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育部会の取り組みはパワーポイントと説明で分かりやすかった。話し合いのテーマも知りたいと思った。</li> </ul> <p>《理解できなかった》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現場で働く立場としては、現在の活用を最も知りたかったのも、もっと時間をさいて欲しかった。</li> </ul>
小規模	9	18	1	
家庭的	6	7	0	<p>《理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>”子どものより良い育ちを保障する”保育のあり方を改めて認識することができました。</li> </ul>
グループ	3	0	0	<p>《理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このガイドラインを作り、活用するための話でしたが、公立やそれに順ずる施設では出来ても一般企業参入の所がどこまでこのガイドラインが通じるか疑問に思う所もあった。</li> <li>読むと当たり前と思うことばかりなのですが、実施するとなると本当にできているのかな？と確認し直さなくてはいけない大事なことです。</li> <li>武蔵野市の子どもたちの乳幼児期を守るためにも新規の企業保育園にも理解して浸透していくとよいと思います。</li> <li>子どもの幸せを第一に(子どもを真中にすえての子育て)家庭力地域力の大切さは、グループ保育、一時保育、ひろばの充実に大いにかかわっています。より力をいれていただきたいと思います。</li> </ul>
新規施設	4	4	1	<p>《理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意味のあるガイドラインをより広めていければと思う。</li> <li>待機児童問題を解消するにあたり、株式会社などの新規参入が増えていくと見込まれる中、より強く活用される方向に持っていくべきと考える。</li> </ul> <p>《おおむね理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な活用例をもっと出してもらえると良かった。</li> <li>仲間うちの会議という感じがした。</li> </ul> <p>《理解できなかった》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遅番勤務のため、後半 20 分程度の参加しかできず残念だった。</li> </ul>
その他	9	4	1	<p>《理解できた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員としては、現場の先生方の意見交換をもっと見てみたかったです。</li> <li>園での取り組みなどを聞くことができて良かったです。</li> <li>精華第二保育園の具体的実践のエピソードは良かった。</li> <li>ガイドラインが実際に活かされ、活用されている具体的な話を聞くことができ、ガイドラインの存在が机上ではなく実際に保育の中に生きていることや絶えず進化していることが実感することができた。</li> </ul>
合計	83	86	6	

## 2. 全体を通して、研修会の参加について

施設区分	参加してよかった	参加しなくても良い	どちらともいえない	意見・感想
認可保育所	91	8	8	<p>《参加してよかった》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン策定の経過や思い、目的が分かったので良かったと思う。・ガイドラインの存在は知っていたが、どういった経過でどのような方がつくられ他の加知らず、生の声で知ることができて良かった。</li> <li>・パワーポイントを見て、どのように現場で活かされているのかがよくわかった。これからもそうした場があると良い。</li> <li>・もっと内容に触れていくのかと思いましたが、ガイドラインの冊子を持っていかなくても良いくらいの研修会でもっと詳しく具体例など 挙げながら聴きた かったと思います。</li> <li>・ガイドラインと保育カリキュラムの違いが分かっていなかった。今回参加して何のためのガイドラインなのか基礎を学べた。</li> <li>・色々な事業が繋がっていること、ガイドラインに基づいていることがわかった。</li> <li>・子どもの最善の利益をそれぞれの立場の方が真剣に考え熱い思いを出しての策定だと伝わった。</li> <li>・子ども協会への移管がうまくいっているため、公立はなくてという意見が聞かれるが、行政の一貫である公立があるから、今後も見直しを持って保育行政を行っていけるという事を再認識した。</li> <li>・一人でガイドラインを読んでも理解は深められないので、この文面はこんな思いが入っているなど知ることが出来よかった。</li> <li>・色々な民間園も参加できてよかった。</li> <li>・他園の実践(具体的な活用)をもっと深く知れると良い。</li> </ul> <p>《どちらともいえない》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経過等の話しも大切だと感じますが、ガイドラインの中で大切にしたいポイントなどを細かく話してもらおうよかった。</li> <li>・文面だけでなく、ガイドライン策定に関わった方から直接話しが聞けて良かった。</li> </ul>
小規模	17	2	9	<p>《参加してよかった》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定にあたり大事にしている部分を聞いて、より明確にガイドラインをとらえられ良かった。</li> <li>・様々な立場でありながら、子どもたちの事を思う人がいることがよくわかる機会であった。</li> <li>・ガイドラインの具体的な活かし方がわかってよかった。</li> <li>・策定の経緯がよく分かった。・公立の職員ももっと参加できればよいと思った。</li> <li>・実践をパワーポイントで見ることができて良かった。</li> <li>・改めてガイドラインを丁寧に読み、自分の施設に取り入れることを検討したい。</li> </ul> <p>《どちらともいえない》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインの具体的な内容等の説明があればよかった。</li> <li>・内容によって参加有無を決めたい。</li> </ul>
家庭的	10	0	3	<p>《どちらともいえない》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容として、もう少し具体的な話しを聞きたかった。</li> </ul>
グループ	3	0	0	<p>《参加してよかった》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通し、色々な人がガイドラインに参加してよりよいものを作り、また実践していただきたいと思う。</li> <li>・武蔵野市の保育を、父母・専門家の方々とは市が一体となって”子どもの育成のあり方”を考えあい、児童福祉法に基づき基本姿勢を打ち出した事、素晴らしいと思います。</li> <li>・策定関係者の子どもたちの育ちに対する熱い思いを感じた。</li> </ul>
新規施設	6	1	2	<p>《参加してよかった》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて参加しましたが、形式的なものではなく、中身が詰まった内容で参加した意味があった。</li> <li>・保護者代表で参加されていた井原さんが非常に立派な方で保護者としての意見は参考になった。</li> <li>・算定の経過や活用についてがメインだったが、ガイドラインの内容(中身)について、解説してもらおうと思う。</li> <li>・武蔵野市の取組みが具体的に見えてよかった。</li> </ul> <p>《参加しなくても良い》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネリストの同じ発言が続いた。現場の保育士からの発言や意見交換の場をとってほしい。</li> </ul> <p>《どちらともいえない》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインが教育について書かれていない。認定こども園もあるので、考えていくことも必要。</li> </ul>
その他	12	0	2	<p>《参加してよかった》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段お会いできない現場の先生方の顔を知ることが出来てよかったです。</li> <li>・資料でしか認識できなかった作成の経過が、当事りの方の生の声で聞くことができ理解が深まった。</li> <li>・また、様々な取り組みを実施していることが、ガイドラインに基づいていることがつながり有意義であった。</li> <li>・研修の内容だけでなく、市職員、各保育施設の職員が集まって話を共有できたということはとても良かったのではないかと思います。</li> <li>・各園読み合わせを行なう、正規職員以外と共有するなど活用していると思うが、小規模や新規施設などが一堂にかえて聞くことは大きな意味があると思う。</li> <li>・保育に関わるうえで、ガイドラインは基礎となるものだと思いますので、このように基礎に立ち帰ることは必要だと思いました。</li> <li>・ガイドラインは読むことはあったが、このように深く考える時間を得ることができて良かった。仕事にも生かせると思う。</li> </ul>
合計	139	11	24	

### 3. ガイドライン研修会の今後

施設区分	あとよい			どちらでもよい	必要ない	意見・感想
	毎年	3~4年に1回	状況に応じて			
認可保育所	26	16	50	12	1	<p>《毎年》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の質の維持・向上のためには続けて行い、研修に参加していない職員が順にみんな参加できると良いと思う。</li> <li>・ 保育に携わる人、すべての方に周知、理解されてこそ意味があるのだと思う。</li> <li>・ 毎年、新人職員が入るので、本日の内容、市として取り組んでいることを知ることは大事。保護者についても同様に思う。</li> <li>・ ガイドラインの見直しや保育部会のまとめなど、実践していることを知ってもらうためにも、このような会は必要だと感じる。</li> <li>・ 保育部会で1年間学んだ内容は、今年度のように報告すると学んだ内容が全員に共有できるのではないかと。せっかく学んだことが他職員に伝わっていかないのは残念。</li> <li>・ 毎年実施することで、保育のガイドラインの関心がみんなに深まるきっかけになる。</li> <li>・ ガイドラインは、実際にどのような活用をしているのかを聞くことにより、理解が深まり参考になるので毎年実施してほしい。</li> <li>・ 同じ方が毎回参加というわけではないが、若手は聞いておくとよいと思うので毎年がよい。</li> <li>・ 年に1回は様々な形で、皆で学び考えていける研修を希望します。</li> <li>・ 策定の経過は簡単にして、今後はガイドラインの中味を詳しく伝えられるとよい。</li> <li>・ 日々の保育が大事なため、ガイドラインの実践交流会を定期的に行うのがよい。</li> <li>・ 毎年、3~4月に行ってほしい。年計画に活かせるため。</li> </ul> <p>《3~4年に1回》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新人職員は経過やその当時の思いなどが分かりづらいと思うので、このペースで聞けるとよい。</li> <li>・ ガイドラインを細分化して、研究発表会の形にすると具体的な取り組み、失敗例、成功例、そこまでの苦悩等みえやすく、現場でいかしやすい。</li> </ul> <p>《状況に応じて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規施設が今後できるのであれば必要。今回のような形でなくてもよいと思う。</li> <li>・ 武蔵野の保育に携わる人は全員が参加できるような会を設定できるとよい。(色々な施設、年齢、職種)</li> <li>・ 保育者向け、保護者向けの両方があると良いと思います。</li> <li>・ ガイドラインはこれからの実践を通して見直し、内容の変更がある時は皆で学ぶ機会が必要。</li> <li>・ 新人職員は聞ける場が必要。</li> </ul>
小規模	5	1	11	3	8	
家庭的	0	2	9	2	0	
グループ	2	0	0	1	0	<p>《毎年》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めのうちは毎年あった方がよいと思う。</li> <li>・ 毎年~隔年、各施設から、各分野から“武蔵野の子ども達”の幸せを考えあい、具体的な措置を講じていきましょう。</li> </ul> <p>《どちらでも》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もっと具体的な内容として、実践とつなげるとよいと思います。</li> </ul>
新規施設	2	0	4	2	1	<p>《毎年》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武蔵野市のガイドラインの内容を広め、おそらく賛同いただける方が多いと思うので、認可施設ではこの考え方を取り入れ運営することで、保護者により一層安心していただけると思う。</li> </ul> <p>《状況に応じて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要に応じて開催を決めるとよいと思う。</li> </ul> <p>《必要ない》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回のような研修会なら必要ないと思う。(パネリストは3名でよいと思う)</li> </ul>
その他	1	1	12	0	0	<p>《毎年》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規の保育施設の参入があった場合や、施設長が変わった場合などは是非とも実施したほうが良いし、そうでなくても毎年行うことで位置づけを理解することや考えを共有できると考える。</li> </ul> <p>《状況に応じて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新設の保育所等が出来る年(しばらく続くと思いますが・・・)は小規模でも良いので開催すべきかと思いました。</li> <li>・ 新規の保育園が開設しているので保育のガイドラインの内容について詳しい説明があると良いと思います。</li> <li>・ 策定当時の話を聞くことができたのはとても貴重な機会だったと思いますが、今後も定期的に続けていくことは容易ではないと思うので、どんな内容の研修会にするか、また策定当時の話を聞くことのできる場をどの程度の頻度で設けていくかなどについては考えていく必要があるのかなと思いました。</li> <li>・ 子ども・子育て支援新制度が施行されているため、保育所のみならず、多様な保育形態への対応が必要となってくるのではないかと思います。</li> <li>・ 後半活用についてのお話があったが保育部会の継続と新たな課題の抽出、保健や栄養部会など実践していく中で必要に応じてこのような機会(研修会)を設けていくことは大事。</li> <li>・ 保護者向け、施設向けの区切りがあると良い。・ガイドラインの具体的な活用事例について、いくつかの園からレポートを聞いてみたい。</li> </ul>
合計	36	20	86	20	10	

#### 4. 今後の貴施設のガイドラインの活用やガイドラインについて

<p>認可保育所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と読み合わせをしたり園内研修の資料に活用できればよいと思う。</li> <li>・日々の保育を振り返りながら活用できるものだと思います。保育士が共有していけるように配慮したいと思いました。</li> <li>・ガイドラインは活用しなければ意味がないという言葉が印象的。園でもここはどうか、できているかを話しをしながら保育に活かしていきたい。</li> <li>・年に1度は読み返す機会をつくって基礎となる思いを再確認していく。</li> <li>・保育指針、ガイドライン、各園の理念を一体として学んでいく機会が必要。</li> <li>・ガイドラインが保育部会で活かされていることを知って、そのように活かしていくことが大切だと思った。</li> <li>・ガイドラインを熟読して、日々の保育をしていきたい。</li> <li>・ガイドラインに書かれている内容が保育内容の大きな柱になっている。ガイドラインを読み返すことで、日々の保育がガイドラインとどうつながっているのかを自分で確認し学びにつながる。</li> <li>・保育施設が増えているので横のつながりも大切だと感じています。その基盤になるのが、このガイドラインであるので保護者、職員、行政と一緒に理解していくことが大切だと思う。</li> <li>・武蔵野市の保育の元となるガイドラインがあることは大切だと思う。基本があることで大きくずれていけないし、この部分が大切ということが一致できるのではないと思う。それには実践交流は欠かせないと思う。保育部会の実践交流を通して、それぞれの園の保育が見える。</li> <li>・なるべく幅広い層の保育士に参加して現在の状況等を知るべきだと思う。</li> <li>・あまり自園でできていないが、昨年度メンバーだったので、お散歩マップは参考になった。ガイドライン保育部会で学んだことを職員へ周知することが大事。</li> <li>・保育との照らし合わせや振り返りを園内で定期的に行ない活用していけるとよい。</li> <li>・保護者にも読みやすい(読んでもらいたいと思う)ガイドラインなのかの部分では不安。今後どのように保護者にも広げていくかが大事であり課題。</li> <li>・鈴木先生のお話のように、ガイドラインを与えられたものとして、とらえずに自らのものとして保育に活かせるようにすることが必要。</li> <li>・保育部会での話(実践)は、参加者はとても学びになる。だが、園で共有できるとよいのだが、どの様な形でやるのが良いか悩んでいる。</li> <li>・ガイドラインは私たちの日々の保育から生まれたもの。保育の基本として全職員の共通の認識のもと、保育をおこなっている。</li> <li>・今後できあがる保健、栄養の部分にも期待し、保育所全体で連携がとれるとよい。</li> <li>・ガイドラインを再度読み直して、保育の質の向上を目指していきたい。(保育内容、地域の保育施設と連携を意識していく。実践交流も含む)</li> <li>・保護者の思い、園の思い、行政の思い、それぞれ書いてあるので時々読み返していくことで、原点に戻ることができるのではと思った。</li> <li>・周知し活用される事(実践等)が大事であるので年度初めのカリキュラムを検討する時などに活用していけるとよい。</li> <li>・研修の参加することで職員のガイドラインに対する意識がたかまり各園で活用されるとよい。</li> <li>・職員間で何でも読みなおすなどして家庭への対応などに共通理解をしていきたい。</li> <li>・認可保育園としても役割など園全体で理解しガイドラインを基盤とした武蔵野市での保育のありかたを共有し、質の向上につとめていきたい。</li> <li>・ガイドライン保育部会のメンバーです。部会で話されたことを園におろしていく役割を担うことが大事と感じました。実践を積み重ねることが武蔵野市の保育の質の向上になると思います。</li> <li>・行政・保育者だけでなく保護者も検討委員に入りつくりあげたことでよりよいガイドラインになったと感じた。武蔵野の保育の意識の高さを改めて感じた。</li> <li>・武蔵野の保育の原点として継承していかなければならない。そのために今回のような研修会や勉強会があると良いと思う。</li> </ul>
<p>小規模</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと中身についての説明をしてほしかったです。それと今後の利用の仕方についての説明がほしかったです。活用について、他園の実践をもっと知りたい。</li> <li>・保育園だからできること、小規模だからできることを補い、確認していくためのものとして活用し各施設で明確にしていくことが大事。</li> <li>・認可園と新たに認可になった小規模、保育ママの共通するところ、違うところ(できないこともある)を確認しながら、より安心、安全な良い保育ができるように職場で話していきたい。</li> <li>・ガイドラインを見直して、職場で活用していきたい。</li> <li>・ガイドラインを職場で活用するには、職員間の話し合いが必要だと思うがガイドラインを十分に理解している職員(リーダー的な人)が居ないのが難しい。</li> <li>・ガイドラインを読み返し、自分の保育を振り返って、より良い関わりができるよう努力し続ける気持ちを大事にしていきます。</li> <li>・今回の実践を聞いて、自園の環境の整備等、保育の見直しを話していきたいと思った。</li> <li>・自園の保育過程やカリキュラム、そして保育指針とカリキュラムを照らし必要な部分を取り入れていきたい。</li> <li>・活用したいと思うが、一人ひとりがガイドラインを、まずは理解したうえで取り入れることが大事だと思う。</li> <li>・内容は理解できたので、回数を重ねることで、より深まるのではと思う。</li> </ul>
<p>家庭的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の忙しさの中で、ふと立ち止まり基本にかえる時に目を通したいと思います。スタッフ全員がいつでも手に取れるよう置いておきます。</li> <li>・認可保育園のサービス内容、取り組みなければいけない内容に迫れるよう、環境整備と園内の体制を再検討して、書類として残していけるよう書類整備をしていかなければと感じた。28年度には間に合うよう努力目標ができた。</li> <li>・基本的にはガイドラインを念頭において保育を実践している。参加して改めて「より良い保育とは？」を考えるきっかけになりました。</li> <li>・新しく保育に関わる保育者は、ガイドラインを知る機会があると良い。</li> <li>・各保育園ではどのように取り組んだのか、どのように取り組んでいるのか、具体的な保育の内容を聞くことができる機会をもってほしい。</li> <li>・日中、情報交換等できるようになるとよい。</li> </ul>
<p>グループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このガイドラインを参考に施設でも活用したい。</li> <li>・全員にコピーをしてお渡ししています。採用時にマニュアルと一緒に渡して説明するなど今後も活用方法を検討したいです。</li> <li>・また父母の意見もっているので保護者会などで一緒に育てる心意気を伝えるのに活用できるかもしれません。</li> <li>・ガイドラインを活用(実践)し”子どもにとって最善”をつみ上げていきたいです。この思いが全市民の中に浸透し”ガイドライン”が当り前の見方になります様、各施設で努力していきたいです。</li> </ul>
<p>新規</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規施設ですので新しく採用する施設長・保育士と読み合わせするなど、ガイドラインの中身を共有しながら、それぞれの考え方を運営に生かしていきたいと思う。</li> <li>・振り返りの場面、何れ判断にする時に、ガイドラインを基準に考えるようにしていきたいと思う。</li> <li>・武蔵野市のガイドラインをもとに、地域子育て支援に力を入れていけるようにしたい。</li> <li>・他の保育所・保育士の交流等もしていき、より良い保育をしていければと思う。</li> <li>・武蔵野市の熱い思いは、以前から感じていたが、今回の研修でより熱心な取り組みが素晴らしく、業務や保育がしやすく感謝している。その思いを職員にも伝えることができた。</li> <li>・ガイドラインが策定されより良い保育が出来ることを心から祈っている。</li> <li>・スライドで他園の状況も見られたので良かったです。</li> <li>・他園の状況を知りたいので、もっと回数があると参加しやすいです。</li> <li>・新制度を市のガイドラインに取り込むことは考えているか聞きたい。</li> <li>・新制度の問題や方向性について、もっと前向きにとらえて今後実りのある研修会を期待します。(新しい保育のあり方を模索していければと思う)</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域型に向けた内容を盛り込んで、バージョンアップさせていくべき。</li> <li>・もう少し重要な項目は縛りをかけるような内容にしていくべきである。</li> <li>・施設整備を進めていく必要のある状況の中、各施設で保育の質を一定程度確保するために、ガイドラインの果たす役割は大きいと思います。</li> <li>・毎年、職員と読み合わせをして保育の計画に活かしていく。</li> <li>・保護者との共有=武蔵野市の保育、自園の保育を伝えられるように、今回の実践報告会の映像などが全施設の保護者会等で、見られたらよいのではないかと。</li> </ul>



## 5. その他、ご意見ご感想等、自由記載

認可保育所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回参加して、策定の経過や思いを感じることができたし、保育を見直せた。今後活用できる部分は活用したいので、今回のような場は続けてほしい。</li> <li>・ケース検討会等で、行っていいことは、ガイドラインの基礎があってこそだと知ることができた。</li> <li>・新たな認可事業となった施設がどのように活用できるか、どのように取り組んでいくのが大事。皆さんのお話を聞いて、ガイドラインがどのようにできたか知ることができた。少しでも役立てていけたらと思う。</li> <li>・ガイドラインが「お飾り」にならないよう、実践できるように頑張る。</li> <li>・危機管理についても、今後立ち上げる委員会に期待している。</li> <li>・実際に監修や立案に関わったパネラーの方々のコメントを伺うといかに尽くされて出来たガイドラインが良く理解できた。</li> <li>・策定時に読んだもののその後、読むことがほとんどなかったのが保育の基礎、立ち戻るものとして定期的に読むものと感じた。</li> <li>・ガイドラインにそっていない施設が市内にあると思われるのもっと公的資金を充実させるべきだと思う。</li> <li>・平之内課長の話にも出ていた「保育だけでなく、栄養・保健もやっていきたい。」是非取り組んでほしい。</li> <li>・ガイドラインの作成のエピソードを聞き勉強になった。</li> <li>・質疑の時間がなかったが小規模や家庭保育の方々がどう感じたかを知りたい。</li> <li>・民間園や小規模、新規参入の株式会社の方がガイドラインをどう受け止めたか、アンケートのまとめを全施設に反してほしい。</li> <li>・周知させ(内容等)身近なものになるように研修会は回数を重ねていければよいのではないかなと思う。</li> <li>・市内の保育を受けた人がこのガイドラインに定められた水準の保育、向上された保育を受けることができるようになるとういとお強くなる、また、保育の質の向上を目指していきたいと思う。</li> <li>・課長が言っていたように市内の認証の保育園にも広げたり、専門部会を作り武蔵野市の保育に活用していければいいと思う。</li> <li>・副園長や主任など園の形態をよく知った方々だからできたと思う。</li> <li>・武蔵野全体がガイドラインに沿って保育を行えることに感激した。</li> <li>・ガイドラインを守り検証していくことが公立の役目だと思った。(星先生の話聞いて)</li> <li>・はじめの保育所保育指針 1、本ガイドラインにおける「教育」については、「保育所の教育は遊びそのものであり、学校教育とは異なり、総合教育であるということです。」という事ではないかなと思う。</li> </ul>
小規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前もって参加者にはガイドラインを熟読しておいてもらい、各項目に対しての質疑応答で理解をより深めるなどの研修があればよいと思った。</li> <li>・認可、認可外も同じ武蔵野の子どもたち。すべての子どもたちに健やかに育ててほしい。</li> <li>・武蔵野市の保育について、何を大切にしていきどのような保育を展開していくのか知りたい。</li> </ul>
家庭的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成まで、意義深いプロセスであったとお察しします。本当にかかわった方々に感謝いたします。</li> <li>・ガイドラインをつくる時のお話を聞かせて頂きその時の大変さなども知る事ができて良かったです。</li> <li>・新制度で認可になった施設には保育の差があったと思う。施設長がガイドラインを取り入れ、均等な保育がどの園でもできることがガイドラインの意義だと思った。</li> <li>・皆さんの熱い気持ちに触れ感動した。</li> </ul>
グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後このガイドラインがどこまで浸透し、根づけるかが楽しみであると思う。</li> </ul>
新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインが策定されたことで、保育士をはじめ、保健、栄養、また地域、保護者の方々と一つの方向をむいて、子どもが安心安全で過ごせるように援助することができるので良いと思う。</li> <li>・その他のビジネスのように、うまいやり方、ずるいやり方でも成果をだせばよいというのではなく、良い保育は何か、良い教育はとは何かといったところを純粹に追求できる仕事に非常に魅力を感じている。</li> <li>・未来の日本を支える子ども達に関われることをとてもうれしく思う。</li> <li>・ガイドラインという名前を変えてみるのもよいのではないかな。</li> <li>・質疑応答の時間を入れてほしかった。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠を事前にしっかりと取り出席を促したことがよかったと思う。出席率を上げることが大切。</li> <li>・今回は内容も充実しており、非常に有意義でした。一方で、研修会というタイトルであるため、内容の説明「この項目はこういう意図でこのように表現した。」など具体的なことを聞けると考えてしまっていた。</li> </ul>